

母親らが茶会交流

米崎で「ママサロン」

陸前高田

NPPO法人こそだてりシップ（伊藤怜子理事長）による「ママサロン」が20日、陸前高田市米崎町の米崎コミュニティセンターで開かれた。3月行事としてひなまつりにちなんだ茶会なども行われ、小さい子を持つ母親たちがゆつたりとしたひとときを楽しんだ。

同法人は、妊娠中の女性や乳幼児を持つ家族に対する子育て支援を行い、安全・安心かつ健やかな子どもの育成に寄与しようと活動。助産師や看護師など専門的知識を持つスタッフがいるのも特徴で、サロンでは赤ちゃんの体重測定や個別の離乳食相談、母子・母乳相談も受け付ける。この日はブレイルーム開設だけでなく、季節行事としてひなまつ

り茶会を実施。和室に緋毛氈（ひもうせん）



乳幼児を持つ女性らがひなまつり茶会でほっと一息—米崎コミセン

が敷かれ、大船渡市の金社中が参加者に抹茶とお菓子を振る舞った。会場にはスタップが制作したつるし雛やひな人形が飾られるなど、桃の節句らしい明

るい雰囲気。母親たちは近くに子どもを見守ってくれるスタップがいる中、のんびりとお茶を堪能した。こそだてりシップは毎月第1金曜日に大船渡

市盛町のカメラアホールで、第3金曜日に米崎コミセンでママサロンを開設。伊藤代表は「忙しいお母さんたちに、ほっと一息つける環境を提供しリフレッシュしてもらいたい」と話し、気軽な利用を呼びかける。

いずれも午前10時から午後3時までで、参加・帰宅時間は自由。参加費は保険料・おやつ代込みで200円となっている。問い合わせは同法人（TEL47・5689）まで。